

第55回 中国四国リハビリテーション 医学研究会

第50回 日本リハビリテーション 医学会 中国・四国地方会

プログラム・抄録集

会期 2023年 **12月3日** 

会場 **徳島県医師会館**

会長 **松浦 哲也**

徳島大学病院 リハビリテーション部 教授

第55回中国四国リハビリテーション医学研究会
第50回日本リハビリテーション医学会 中国・四国地方会

開催にあたって

第55回中国四国リハビリテーション医学研究会
第50回日本リハビリテーション医学会中国・四国地方会

会 長 松浦 哲也

徳島大学病院 リハビリテーション部 教授

この度、第55回中国四国リハビリテーション医学研究会、第50回日本リハビリテーション医学会中国・四国地方会を開催させていただきますことを大変光栄に存じます。開催に際し、研究会に31題、地方会に20題と大変多くのご応募をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、本会では特別講演として、京都府立医科大学リハビリテーション科の三上靖夫教授に「求められている生活を見据えたリハビリテーション診療」を、埼玉医科大学総合医療センターリハビリテーション科の大林茂教授に「脳損傷による上・下肢障害のニューロリハビリテーションの現状と未来」を、ご講演頂く予定です。両先生とも徳島大学のご出身で、ゆかりある徳島で素晴らしいご講演をいただけると確信しています。

会場は徳島県医師会館で、JR 徳島駅から徒歩10分とアクセスの良いところ です。是非、多くの皆様にご参加いただき、交流を深めていただければと思います。何卒よろしく願いいたします。

ご 案 内

1. 参加者の皆様へ

- 1) 当日は備え付けの参加登録票^{*}に必要事項を記入し、受付で参加手続きをしてください。
※参加登録票(PDF)は学会ホームページからも事前にダウンロードできます。
- 2) 受付にて参加費3,000円をお支払いの上、名札を受け取り、所属・氏名を記入し、必ず着用してください。名札のない方の入場はお断りいたします。
- 3) 地方会会員の方には受付で抄録集をお渡しします。研究会会員の方には事前に抄録集を配送しますので、当日は抄録集をご持参ください。抄録集をお忘れの場合は、1冊500円にて販売させていただきます。
- 4) 研修単位申請を希望される方は受付にて手続きを行ってください。
- 5) 中国四国リハビリテーション医学会研究会に入会を希望される方は新入会受付にて手続きを行ってください。(日本リハビリテーション医学会中国・四国地方会の当日受付はありません)。
- 6) 学部学生(大学院生を含む)及び専門学生は参加費が免除になります。受付で学生証(身分証)を提示ください。

2. 演者の皆様へ

- 1) Windows 版 Microsoft PowerPoint2019で再生可能なファイルで作成してください。
- 2) スライドショーでのスライド枚数に制限はありませんが、6分の発表時間に収まるように調整してください。討論時間は3分です。
- 3) 作成されたプレゼンテーション用 PowerPoint ファイルは、ファイル名を「演題番号+氏名+地方会または研究会」としてください(例:006、徳島太郎_地方会)。
- 4) 使用フォントは Windows 基本 OS に標準搭載のフォントを使用してください。特殊フォントや機種依存文字は使用しないでください。スライドサイズはワイド画面(16:9)にて作成してください(標準画面4:3で作成された場合、ずれが生じる可能性があります)。
- 5) ファイル作成後、他のパソコンで正常に作動するかチェックしてください。ファイルのアップロード前に最新のウイルス駆除ソフトでチェックをお願いします。ファイルは2023年11月7日(火)までにアップロードしてください。
- 6) 登録後に修正が発生した場合は、必ず事務局へ連絡後に再アップロードしてください。修正期限は2023年11月7日(火)までとさせていただきます。期日以降のスライド修正は受け付けませんので、あらかじめご了承下さい。
※ご連絡がない場合は修正前のファイルでのご発表になる場合があります。
- 7) 登録頂いたファイルは、本会終了後に事務局が責任をもって消去します。

8) 事前登録されたプレゼンテーション用 PowerPoint スライドの当日試写はありません。また、学会当日にスライド変更の受け付けはいたしませんので、あらかじめご承知おきください。

3. 座長及び演者の皆様へ

セッション開始10分前までに次座長席、次演者席にお着きください。座長の皆様には各ご担当セッション内で活発な討議がおこなわれますよう、お取り計らいください。

4. リハビリテーション科専門医・認定臨床医の皆様へ

本会では、生涯研修単位を、学会参加でリハビリテーション科専門医は1単位、認定臨床医は10単位、特別講演1、2でリハビリテーション科専門医は各1単位、認定臨床医は各10単位合計でリハビリテーション科専門医は最大3単位、認定臨床医は最大30単位を取得できます。なお、特別講演にて単位取得ご希望の方は、受付にて各講演1,000円をお支払いください。また、地方会発表の筆頭者はさらに、リハビリテーション科専門医は1講演1単位、認定臨床医は1講演10単位が取得できますので、「専門医・認定臨床医単位取得自己申請用紙」に添付して「発表等の証明となるもの」もしくは「抄録集の表紙および抄録掲載頁のコピー」を日本リハビリテーション医学会事務局へ送付してください。なお、地方会でご発表をされて、専門医試験を受けられる方へ「地方会発表証明書」を発行いたします。ご希望の方は、受付にてお渡し致しますのでお申し付けください。

5. 理学療法士の皆様へ

日本理学療法士協会生涯教育基礎研修のポイントは取得できません。

6. 作業療法士の皆様へ

日本作業療法士協会生涯教育基礎研修において、参加・発表で各1ポイントが取得できます。参加者本人が参加証明書(領収証)を添付資料として、会員ポータルサイトから受講履歴登録を行ってください。

7. 言語聴覚士の皆様へ

日本言語聴覚士協会生涯学習プログラムの参加・発表で各1ポイントが取得できます。生涯学習プログラム終了申請の際に、本会 WEB 配信ページ上にてダウンロードいただいた参加証明書や領収証(コピー可)を日本言語聴覚士協会事務所までご提出ください。

8. セラピストマネージャー認定看護師の皆様へ

回復期リハビリテーション看護師・認定セラピストマネージャー認定資格更新のためのポイント付与対象になります。参加者ご自身で各コースポイント申請月に申請手続きをお願いします。（回復期リハビリテーション看護師認定者は8月、セラピストマネージャーは1月）ポイント申請の手続き方法はオリエンテーションテキストまたは、ホームページ専用サイト「リハ看護師の広場」、「セラピストマネージャーの広場」にてご確認ください。

9. 理事会・幹事会のご案内（12時00分～13時00分）

役員の皆様は、12時00分に学習室（同館4階）にて行いますのでお集まりください。

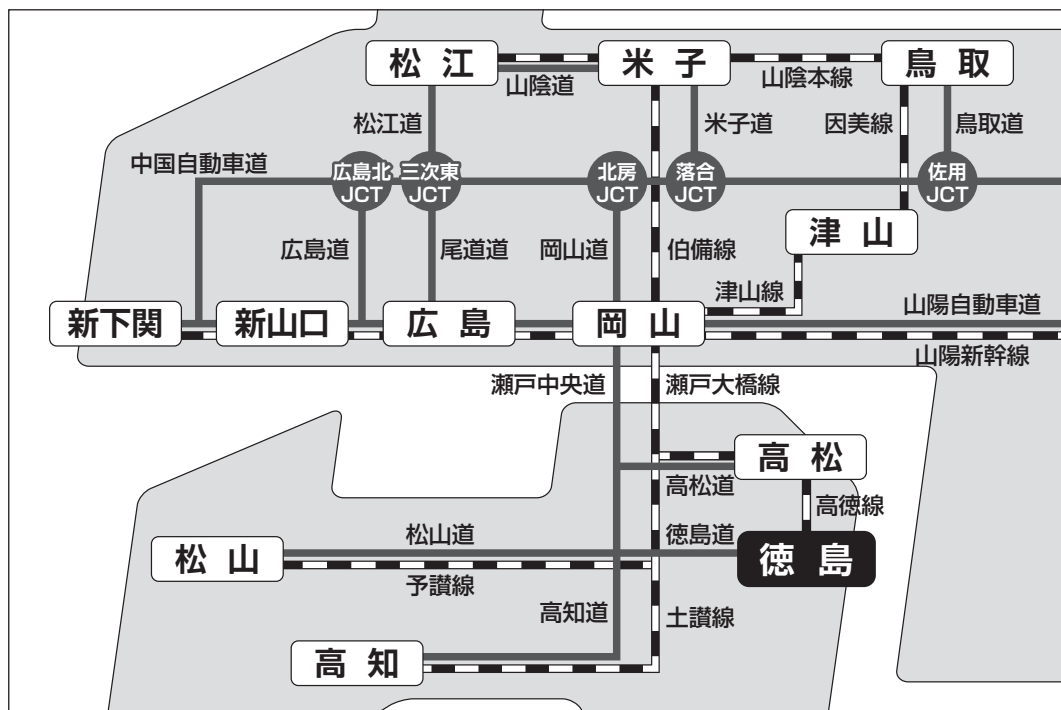
10. 総会のご案内（13時10分～13時40分）

13時10分までに、第1会場（ホール）にて開催しますのでお集まりください。

11. 駐車場について

会場の駐車場（80台完備）をご利用ください。（駐車料は無料です。）

交通案内図

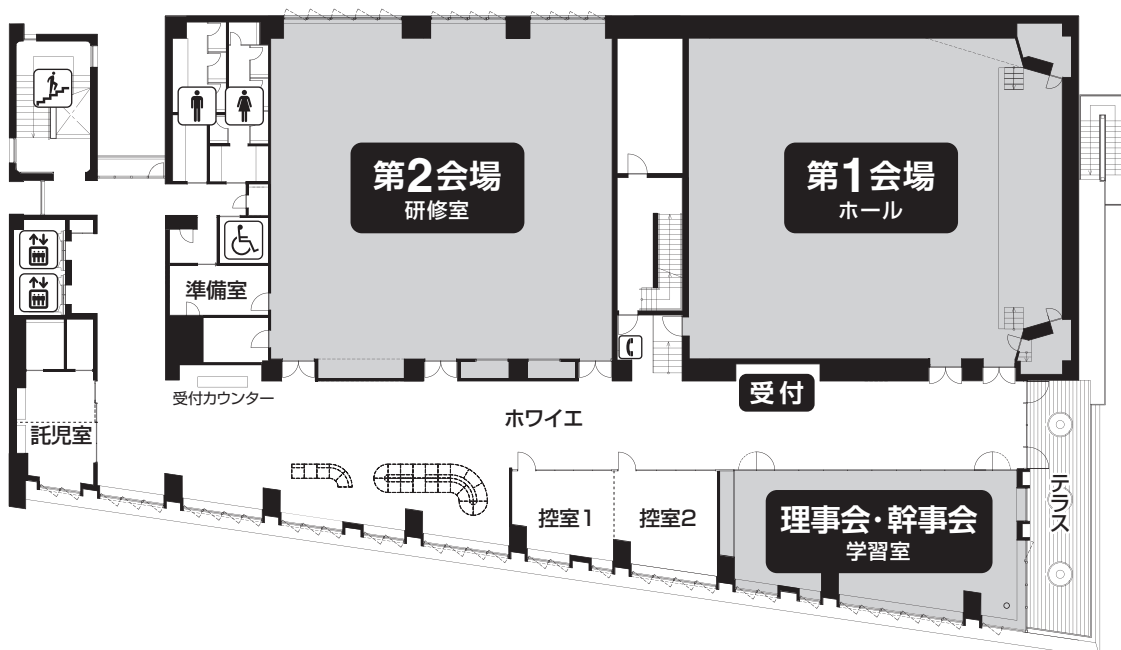


●徳島駅から徳島県医師会館まで徒歩13分

会場案内図

徳島県医師会館

4F



日 程 表

12月3日(日) 徳島県医師会館

	第 1 会 場 4F ホール	第 2 会 場 4F 研修室	役員会会場 4F 学習室
8:30	8:30~ 受 付		
9:00	8:50~ 開会挨拶		
	9:00~9:45 地方会 1 (01~05) 座長：稲次 美樹子	9:00~9:45 研究会 1 (21~25) 座長：出口 憲市	
10:00	9:50~10:44 地方会 2 (06~11) 座長：米津 浩	9:50~10:44 研究会 2 (26~31) 座長：若松 正人	
11:00	10:50~11:50 特別講演 1 三上 靖夫 先生 座長：加藤 真介		
12:00			12:00~13:00 理事会・幹事会
13:00	13:10~13:40 総 会		
14:00	13:45~14:45 特別講演 2 大林 茂 先生 座長：松浦 哲也		
15:00	14:55~15:40 地方会 3 (12~16) 座長：江西 哲也	14:55~15:40 研究会 3 (32~36) 座長：岡久 哲也	
16:00	15:45~16:21 地方会 4 (17~20) 座長：佐藤 紀	15:45~16:30 研究会 4 (37~41) 座長：後藤田 晶	
17:00	16:26~17:20 研究会 5 (42~47) 座長：後藤 強	16:35~17:11 研究会 6 (48~51) 座長：近藤 心	
	17:20~ 閉会挨拶		
18:00			

プログラム

開会挨拶 8:50～9:00 第1会場(4F ホール)

会長 松浦 哲也(徳島大学病院 リハビリテーション部 教授)

地方会 1 9:00～9:45 第1会場(4F ホール)

座長：稲次 美樹子(稲次病院)

- 01** 地域枠出身のリハビリテーション科専門医の勤務経験
— 摂食嚥下リハビリテーションの充実を目指して—
三好市立三野病院 リハビリテーション科 森脇 笙 16
- 02** 摂食障害患者に対するリハビリテーションの問題点
徳島大学病院 リハビリテーション部 梅村 公子 18
- 03** VZV 感染による多発神経障害が原因で複雑な嚥下障害症状を呈した1例
川崎医科大学 リハビリテーション医学 長谷川 智子 20
- 04** 医療保険適用下での神経・筋難病患者に対する HAL 治療の長期成績
広島大学病院 リハビリテーション科 椿田 悠馬 22
- 05** 術前のがんロコモ～ロコモ度テスト別でのリスク因子の検討
岡山大学病院 総合リハビリテーション部 堅山 佳美 24

地方会 2 9:50～10:44 第1会場(4F ホール)

座長：米津 浩(阿南医療センター)

- 06** AI 技術を用いた3D プリンター義足の臨床試験 in インドネシア
広島大学病院 リハビリテーション科 松本 彰紘 26
- 07** 寛骨臼回転骨切り術後のスポーツ活動
徳島市民病院 リハビリテーション科 江西 哲也 28
- 08** 当院における人工距骨置換術に対するリハビリテーション
高松赤十字病院 リハビリテーション科 殿谷 一朗 29
- 09** 人工股関節全置換術前後における足部回旋の検討
山口大学大学院 医学系研究科 整形外科 山崎 和大 30

- 10 転院先およびリハビリ形態からみた腱板再断裂例の検討
岡山赤十字病院 整形外科 尾下 遼 32
- 11 橈骨遠位端骨折の術後患者に対する早期積極的握力訓練
香川大学医学部附属病院 リハビリテーション部 加地 良雄 34

特別講演 1 10:50～11:50 第1会場(4F ホール)

座長：加藤 真介(徳島赤十字ひのみね医療療育センター)

[求められている生活を見据えたリハビリテーション診療]

三上 靖夫 先生 京都府立医科大学大学院 医学研究科 リハビリテーション医学

理事会・幹事会 12:00～13:00 役員会会場(4F 学習室)

総会 13:10～13:40 第1会場(4F ホール)

特別講演 2 13:45～14:45 第1会場(4F ホール)

座長：松浦 哲也(徳島大学病院)

[脳損傷による上・下肢障害のニューロリハビリテーションの
現状と未来]

大林 茂 先生 埼玉医科大学総合医療センター リハビリテーション科

地方会 3 14:55～15:40 第1会場(4F ホール)

座長：江西 哲也(徳島市民病院)

- 12 生活期リハビリテーションにおける訓練項目の全国調査
広島大学病院 リハビリテーション科 荒木 武弥 36
- 13 導尿または尿道カテーテルの状態で入院した脊髄不全麻痺患者の排尿予後検討
伊予病院 リハビリテーション科 高橋 真司 38

- 14** 高齢者の高位頸髄損傷の1症例
 広島大学 急性期リハビリテーション地域連携研究講座 石井 良昌 40
- 15** リハビリテーション病棟で脊髄梗塞の合併がわかった ICU-AW の1例
 川崎医科大学 リハビリテーション医学 松山 和寛 42
- 16** 当院における脊椎疾患保存症例へのピラティス運動療法の効果検証
 社会医療法人凌雲会 稲次病院 リハビリテーション科 稲次 美樹子 44

地方会4 15:45～16:21

第1会場(4F ホール)

座長：佐藤 紀(徳島大学病院)

- 17** 当院における体外衝撃波治療の治療応用に関して
 徳島大学病院 整形外科 岩瀬 稜志 46
- 18** 脳幹出血後に経鼻経管栄養および気管カニューレの留置を経て
 経口摂取可能となった一例
 稲次病院 森脇 好乃美 48
- 19** 脊椎再建術後の合併症による術後経過への影響の検討
 高松赤十字病院 整形外科 富山 翔悟 50
- 20** 頸椎術後 C5 麻痺に対して
 ピラティス器具等を用いてリハビリテーションを行った1例
 徳島大学病院 リハビリテーション部 佐藤 紀 51

研究会1 9:00～9:45

第2会場(4F 研修室)

座長：出口 憲市(徳島県鳴門病院)

- 21** 腱鞘切開術後患者における上肢遂行能力に影響を与える因子
 徳島県鳴門病院 リハビリテーション技術科 大西 明日香 52
- 22** 手根管症候群における母指回内角度が CTSI-JSSH に及ぼす影響
 徳島県鳴門病院 リハビリテーション技術科 山家 恭平 54
- 23** 当院におけるスプリントの作製状況と臨床教育に向けた一考察
 高知大学医学部附属病院 リハビリテーション部 大石 大 56
- 24** 手指への寒冷刺激が最大握力に及ぼす影響
 吉備国際大学大学院 保健科学研究科 小松 まゆ 58

- 25** 関節鏡下腱板断裂手術後の臨床評価における臨床的有益性の最小変化量 (MCID)
国立病院機構 高知病院 リハビリテーション科 吉村 大輔 60

研究会 2 9:50~10:44

第2会場(4F 研修室)

座長: 若松 正人(小松島病院)

- 26** 摂食障害のある若年1型糖尿病の1症例
島根大学医学部附属病院 リハビリテーション部 伊藤 郁子 62
- 27** 健常者および嚥下障害患者における最大舌圧値と筋力発揮率の違い
高知大学医学部附属病院 リハビリテーション部 矢野川 大輝 64
- 28** 脊髄性筋萎縮症Ⅱ型に対する薬剤治療後の経過
島根大学医学部附属病院 リハビリテーション部 道端 ゆう子 66
- 29** 室内照度の変化及び骨格筋量指数(SMI)が姿勢安定度評価指標(IPS)に与える影響
徳島県鳴門病院 リハビリテーション技術科 野々瀬 翔吾 68
- 30** 糖尿病罹患歴10年未満と健常高齢者とのバランス能力の比較
徳島県鳴門病院 リハビリテーション技術科 伊井 孝志 70
- 31** 高齢糖尿病患者および健常高齢者における身体的特性とバランス能力との関係
徳島県鳴門病院 リハビリテーション技術科 森 和之 72

研究会 3 14:55~15:40

第2会場(4F 研修室)

座長: 岡久 哲也(徳島大学病院)

- 32** 人工膝関節施行後術後1年のフレイルについて
山口大学医学部附属病院 リハビリテーション部 岡田 弥生 74
- 33** 術前のTSPを用いた患者の層別化はTKA後の急性期疼痛の強さを判別できる
高知大学医学部附属病院 リハビリテーション部 林 祥宏 76
- 34** 90歳以上の大腿骨転子部骨折に対するModular Centaur Stem
人工骨頭置換術症例と骨接合術症例の術後早期歩行能力の比較検討
吉野川医療センター リハビリテーション科 後藤田 晶 78
- 35** 高齢大腿骨近位部骨折術後患者の早期荷重と術後1週の歩行能力の関連
徳島県立中央病院 リハビリテーション技術科 池脇 圭司 80

- 36** 人工股関節全置換術後に股関節および脊椎の可動域制限により
靴下着脱動作が難渋した1症例
徳島大学病院 医療技術部 リハビリテーション部門 佐野 亘 82

研究会4 15:45～16:30 第2会場(4F 研修室)

座長：後藤田 晶(吉野川医療センター)

- 37** 人工膝関節置換術後の歩行能力獲得と術前大腿脛骨角の関連
阿南医療センター リハビリテーション部 坂田 一馬 84
- 38** 人工股関節全置換術後の長距離歩行能力に影響する術前因子の検討
徳島大学病院 リハビリテーション部 友成 健 86
- 39** バasketボールにおける各運動能力間の相関関係に関する研究
医療法人賀新会 プライムホスピタル玉島 青山 広人 88
- 40** 一過性虚血条件への暴露が大腿四頭筋筋力へ与える即時的効果について
学校法人 順正学園 吉備国際大学大学院 梯 智貴 90
- 41** 大腿部への一過性虚血条件が健常成人の動脈スティフネスに及ぼす急性効果
徳島健生病院 リハビリテーション科 四宮 涼太 92

研究会5 16:26～17:20 第1会場(4F ホール)

座長：後藤 強(徳島文理大学)

- 42** 腰椎変性疾患の観血的治療後に生じた動脈スティフネスおよび心拍数変化の関連
徳島県鳴門病院 リハビリテーション技術科 田村 靖明 94
- 43** 腰椎変性疾患患者の立位姿勢の違いが動的立位バランスに与える影響
徳島県鳴門病院 リハビリテーション技術科 橋本 祐司 96
- 44** 下肢痙縮筋に対する拡散型圧力波治療器の歩行効果について
阿南医療センターリハビリテーション部 高橋 真也 98
- 45** トレーニングによる骨格筋量の変化と大腿四頭筋の筋厚値の関係
徳島県鳴門病院 リハビリテーション技術科 富崎 廉 100
- 46** 地域在住高齢者へのステップエクササイズトレーニングが
随意運動中のバランス能力に及ぼす影響
徳島県鳴門病院 リハビリテーション技術科 平岡 友望 102

- 47** 前十字靭帯再建術後ジョギング開始時の疼痛の原因となる走行動作特性
徳島大学病院 リハビリテーション部 岡久 哲也 104

研究会 6 16:35～17:11 第2会場(4F 研修室)

座長：近藤 心(徳島大学病院)

- 48** サルコペニア群と非サルコペニア群との運動効果の比較検討
徳島県鳴門病院 リハビリテーション技術科 出口 憲市 106
- 49** 腰椎変性疾患患者におけるサルコペニアの有無が
四肢骨格筋量および部位別骨格筋量の術後変化に及ぼす影響
徳島県鳴門病院 リハビリテーション技術科 島田 祐希 108
- 50** 急性期病院患者における大腿幅を用いたサルコペニアスクリーニングの妥当性
徳島大学病院 リハビリテーション部 古本 太希 110
- 51** 消化器がん根治術患者における入院関連サルコペニア発症には
術前6分間歩行距離が影響する
徳島大学病院 リハビリテーション部 近藤 心 112

閉会挨拶 17:20～ 第1会場(4F ホール)

会長 松浦 哲也(徳島大学病院 リハビリテーション部 教授)

求められている生活を見据えた リハビリテーション診療

京都府立医科大学大学院 医学研究科 リハビリテーション医学

三上 靖夫

人の生き方や QOL を考慮に入れた診療が必要とされるなか、生活を見据えた診療が求められている。しかし、リハビリテーション治療の内容は筋力増強訓練や歩行訓練などの機能訓練が主体となりがちで、生活に繋がる視点を欠くことが珍しくない。また、高齢者の生活を考えていくうえで、リハビリテーション医療と介護はシームレスに移行する必要があるが、現実的にはうまく連携できていない。生活を見据えた診療がいかにも求められているか、そのために何をすべきかを中心に講演する。

脳損傷による上・下肢障害の ニューロリハビリテーションの現状と未来

埼玉医科大学総合医療センター リハビリテーション科

大林 茂

脳損傷で生じた上肢機能障害や歩行障害が日常生活を制限し社会復帰を困難にする。その完全回復はリハビリ医学にとっての究極目標である。近年、先進医療機器の臨床応用が注目されその効果が期待されている。本講演では、脳損傷患者へ急性期からの末梢神経・筋肉（電気、磁気）刺激装置の早期導入が機能回復を「効率的」「効果的」に促進する可能性とその効果を発揮する神経メカニズム、さらに今後の課題について議論する。

地域枠出身のリハビリテーション科専門医の勤務経験

-摂食嚥下リハビリテーションの充実を目指して-

三好市立三野病院リハビリテーション科¹，徳島大学病院リハビリテーション部²
 ○森脇 笙¹，佐藤 紀²，森脇 好乃美²，梅村 公子²，松浦 哲也²

【はじめに】

私は、地域枠で医学部に入学し卒業した医師であり、9年の義務年限がある。現在、卒業後8年目のリハビリテーション科専門医として、徳島県西部医療圏の医療機関で勤務している。徳島県西部医療圏は、高齢化率が41.6%（2020年）であり、高齢化率の全国平均28.6%を大きく上回るのみでなく、徳島県他の医療圏の高齢化率（東部：32.3%、南部：37.1%）をも上回っている。このように、高齢化率が高い西部医療圏内において、2021-22年度は徳島県立三好病院、2023年度より徳島県三好市立三野病院にて勤務しているが、どちらの医療機関においてもリハビリテーション科専門医の勤務は初めてのことであった。両病院において、主に摂食嚥下リハビリテーションの充実を目指して活動しており、その経験について報告する。

【対象と方法】

県立三好病院では摂食嚥下支援チームの立ち上げに携わった。嚥下造影検査、嚥下内視鏡検査を導入し、必要な患者には摂食機能療法の算定を行った。患者の抽出は、主科よりST依頼のあった患者に加え、当方が病棟回診時に嚥下障害を疑った患者を抽出した。

市立三野病院では、嚥下造影検査を導入した。同様の方法で患者を抽出し、嚥下機能評価、及び訓練を行った。また、栄養サポートチーム（NST）加算をまだ取得できていないため、加算開始のための調整を進めている。

【結果】

県立三好病院での摂食機能療法の算定件数は、リハビリテーション科専門医赴任前の2020年度は464件であったのに対し、赴任後の2021年度は527件と増加、算定人数においても2020年度は40件であったのに対し、2021年度は52件に増加した。2021年度の嚥下造影検査実施数は132件、嚥下内視鏡検査数は22件であった。2022年度以降の数値については学会での発表内で報告する。

【考察】

県立三好病院、市立三野病院双方において、同僚の医師や療法士の協力があり、摂食嚥下リハビリテーションの充実によって一定の成果は得られたと考えている。しかし、リハビリテーション医療の充実には最も重要なのは多職種連携であると考えているが、この点についてはまだ課題があると思われる。病棟における離床の促進をはじめ、口腔ケアの充実、また多職種における基礎知識の向上などが今後必要となってくると考えている。

【まとめ】

これまでリハビリテーション科専門医がいなかった地方の医療機関での勤務経験について報告した。リハビリテーション科専門医の赴任により、リハビリテーション医療の充実が可能であると思われるが、リハビリテーションは特に多職種連携が必要な分野であり、その成熟には時間を要するものと考えられる。

第55回中国四国リハビリテーション医学研究会
第50回日本リハビリテーション医学会中国・四国地方会
プログラム・抄録集

会 長：松浦 哲也

事務局：徳島大学病院リハビリテーション部
〒770-8503 徳島市蔵本町2丁目50-1
TEL：088-633-9313 FAX：088-633-7204
E-mail：tmatsu@tokushima-u.ac.jp

出 版：株式会社セカンド
〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F
TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025
<https://secand.jp/>

